

質問書に対する回答

件名) 横浜新道 新保土ヶ谷 I C ~ 川上 I C 間付加車線工事

No.	質問箇所	質問事項	回 答
1	設計図【遮音壁・雑工】 8/53 10/53	展開図に既設照明柱、標識柱が破線で表記されていますが、今回工事前に別途工事にて撤去完了後に遮音壁撤去、設置工事を実施する計画と考えて宜しいでしょうか。ご教示をお願いします。 また図には表記されていませんが8/53範囲には既設照明柱近傍に既設オービス柱も設置されていますが上記と同様な考えで問題無いか、ご教示願います。 今回工事で撤去する場合は、撤去物の詳細をご教示願います。	特記仕様書 27-1 (7) に示すとおりお考えください。
2	設計図【擁壁工 下り線】 16/27	既設擁壁撤去実施時に支障となる既設照明柱が設置されていますが、今回工事前に別途工事にて撤去完了後に擁壁撤去工事を実施する計画と考えて宜しいでしょうか。ご教示願います。 今回工事で撤去する場合は、撤去物の詳細をご教示願います。	特記仕様書 27-1 (7) に示すとおりお考えください。
3	設計図【遮音壁・雑工】 27/53	撤去工 詳細図(3) 中央分離帯剛性防護柵 KP.5付近既設中央分離帯剛性防護柵天端に止具とワイヤーが設置されていますが今回工事前に別途工事にて撤去完了後に中央分離帯剛性防護柵撤去を実施する計画と考えて宜しいでしょうか。ご教示願います。 今回工事で撤去する場合は、撤去物の詳細図をご教示願います。	特記仕様書 27-1 (8) に示すとおりお考えください。
4	設計図【遮音壁・雑工】 22/53~24/53	撤去工 平面図(1)~(3)に中央分離帯剛性防護柵の撤去延長が明記されていますが中央分離帯剛性防護柵の撤去を計画する際に必要となりますので、既設中央分離帯剛性防護柵の割付図をご提示下さい。	提示できる資料は、設計図【遮音壁・雑工】 27/53の標準配置となります。
5	設計図【参考図】 1/27	施工ステップ断面図(1) STEP6 下り線鋼管杭施工(昼間)と明記されていますが、特記仕様書 P47のとおり鋼管杭の搬入を夜間に実施後、施工が可能であれば夜間に鋼管杭施工を実施しても問題無いか、ご教授願います。	関係法令、特記仕様書 7-2 及び 16-2 に従い、騒音等が発生しない施工であれば、夜間の施工も可能です。

6	設計図【遮音壁・雑工】 2/53 18/53	数量総括表(2) 支柱 IV-O (H=3.5m)MI 3本 0.398tと明記されていますが遮音壁構造図18/53 材料表より3本×83kg=0.249tとなると考えられます。詳細をご教示願います。	設計図【遮音壁・雑工】 2/53に記載の数量は、設計図【遮音壁・雑工】 18/53の材料表における③～⑧及びアンカーボルトの合計質量とお考えください。
7	設計図【遮音壁・雑工】 9/53 17/53	遮音壁構造図17/53 材料表に盛土0.6m ³ (2m当り) と明記されていますが遮音壁割付図(4)9/53 土工数量 (一式当り) に盛土量が明記されていません。一式当り数量をご教授願います。	特記仕様書 2-5-8-1 に示すとおり構造物掘削に含むものとお考えください。
8	全般 (工事範囲) 伐採	今井町B S脇 KP. 5+150付近、各既設遮音壁など伐採必要箇所があると考えます。今回工事前に別途工事にて伐採完了後に今回工事を実施する計画と考えて宜しいでしょうか。ご教示をお願いします。 今回工事で撤去する場合は、樹高、幹回、伐採面積及び処分量をご教示願います。	設計図【本線】 40/40に示す範囲については、共通仕様書 2-5、2-6に示すとおりです。その他については、工事契約後監督員の指示によるものとします。